SONY®

4-148-681-**02**(1)

# デジタルスチルカメラ
# 取扱説明書
# DSC-TX1



InfoLITHIUM™ D TYPE

**お買い上げいただきありがとうございます。**

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

# ⚠警告 安全のために

*55～57ページもあわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

## 「安全のために」の注意事項を守る

## 定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

## 故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

## 万一、異常が起きたら

**変な音・においがしたら**
**煙が出たら**

➡

**❶ 電源を切る**
**❷ 電池をはずす**
**❸ ソニーの相談窓口に連絡する**

**裏表紙**に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

## ⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

**❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。**

**❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。**

**❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。**

**❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。**

### 警告表示の意味

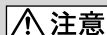
この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

**⚠危険**

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

**⚠警告**

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**⚠注意**

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、
けがや財産に損害を与えることがあります。

**注意を促す記号**

火災

感電

**行為を禁止する記号**

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

**行為を指示する記号**

プラグをコンセントから抜く

指示

### 電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

# お使いになる前に必ずお読みください

## 表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

## 内蔵メモリーおよび"メモリースティック デュオ"のバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーや"メモリースティック デュオ"を取り出したりすると、内蔵メモリーのデータや"メモリースティック デュオ"のデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

## 管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていない"メモリースティック デュオ"を本機に挿入し電源を入れると、"メモリースティック デュオ"の一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

## 録画・再生に際してのご注意

- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(54ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(54ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが変色したり、貼り付いたりすると、充分に発光できない場合があります。

## 液晶画面についてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- 液晶画面に水滴などがついて濡れてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置すると液晶画面の表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。

## ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

- 純正品以外のマグネット付きケースは、電源誤作動を起こす場合があります。

## 本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーが温かくなることがありますが、故障ではありません。

## 温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる場合は、その前に画面にメッセージが表示されます。撮影ができなくなった場合は画面にメッセージが表示されます。

## 画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"(DCF)に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

## 著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

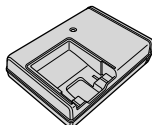
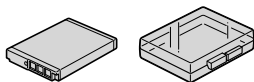
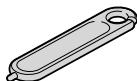
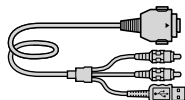
## 撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

# 目次

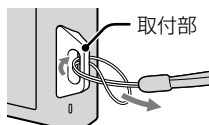
# 付属品を確認する

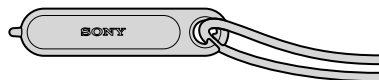
万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

- バッテリーチャージャー BC-CSD（1）

- リチャージャブルバッテリーパック NP-BD1 （1）/バッテリーケース（1）

- ペイントペン（1）

- マルチ端子専用USB・A/Vケーブル（1）

- リストストラップ（1）

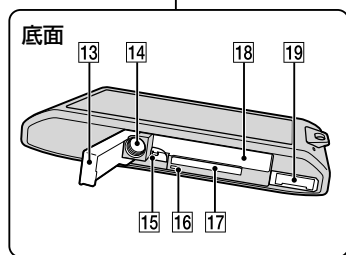
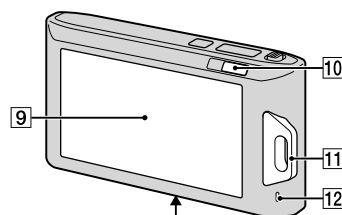
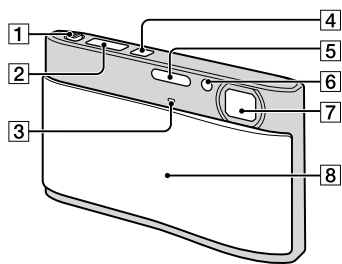
- CD-ROM（1）
  - サイバーショットアプリケーションソフトウェア
  -「サイバーショットハンドブック」
  -「サイバーショットステップアップガイド」
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

## リストストラップを使う

本機にはあらかじめリストストラップが取り付けてあります。
落下防止のため、手をとおしてご使用ください。

## ペイントペンを使う

タッチパネルを操作するときに使います。リストストラップに取り付けて使えます。

**ご注意**

- ペイントペンを持って、本機を持ち運ばないでください。本機が落下するおそれがあります。

# 各部の名前を確認する

1 ズーム(W/T)レバー

2 シャッターボタン

3 マイク

4 ON/OFF(電源)ボタン

5 フラッシュ

6 セルフタイマーランプ/
スマイルシャッターランプ/
AFイルミネーター

7 レンズ

8 レンズカバー

9 液晶画面/タッチパネル

10 ▶(再生)ボタン

11 リストストラップ取り付け部/
グリップ

12 スピーカー

13 バッテリー/"メモリースティック
デュオ"カバー

14 三脚用ネジ穴

- ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

15 取りはずしつまみ

16 アクセスランプ

17 "メモリースティック デュオ"挿入口

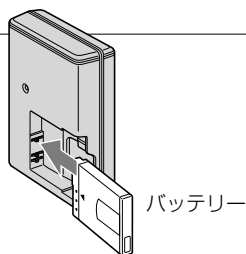
18 バッテリー挿入口

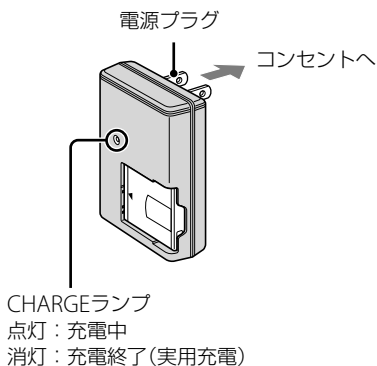
19 マルチ端子

準備する

# バッテリーを充電する

## 1 バッテリーをバッテリーチャージャーに取り付ける。

- 残量があるバッテリーも充電できる。

## 2 電源プラグを引き起こし、壁のコンセントに取り付ける。

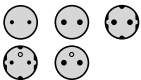
CHARGEランプ消灯後、そのまま約1時間充電を続けると、若干長く使える（満充電）。

## 3 充電が終わったら、バッテリーとバッテリーチャージャーを取りはずす。

### 充電にかかる時間

| 満充電 | 実用充電 |
|---|---|
| 約220分 | 約160分 |

**ご注意**

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。
- バッテリーチャージャーを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。
- 充電が完了してCHARGEランプが消えても電源からは遮断されません。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、バッテリーチャージャーをコンセントから抜き、バッテリーをバッテリーチャージャーから取り出してください。
- 必ずソニー製純正バッテリー、バッテリーチャージャーをお使いください。

## バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

| | 使用時間 | 枚数 |
|---|---|---|
| 静止画撮影 | 約125分 | 約250枚 |
| 静止画再生 | 約240分 | 約4800枚 |

**ご注意**

- 撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。
  （CIPA：カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association）
  ー［手ブレ補正］：［撮影時］
  ー［画面の明るさ］：［標準］
  ー30秒ごとに1回撮影
  ー1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  ー2回に一度、フラッシュを発光する。
  ー10回に一度、電源を入/切する。
  ー満充電したバッテリー（付属）で、温度25℃の環境。
  ー当社製の"メモリースティック PRO デュオ"（別売）を使用。

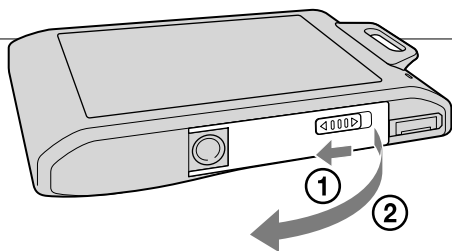
### 海外でも使えます

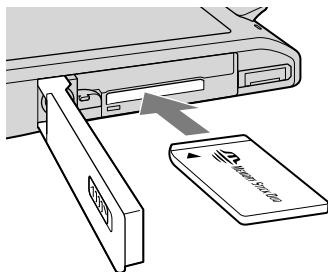
バッテリーチャージャー（付属）は全世界で使用できます（AC100 V ～ 240 V、50/60 Hz）。ただし、地域によっては壁のコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

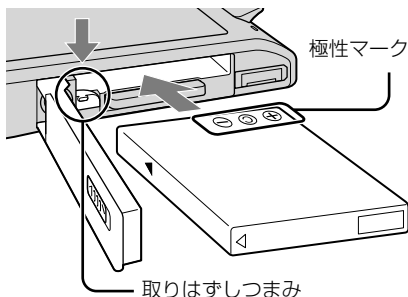
| コンセント形状例 | 地域 | 変換プラグアダプター |
|---|---|---|
| | 主に北米 | 不要 |
| | 主にヨーロッパ | 必要 |

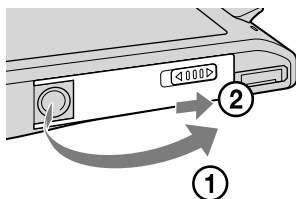
準備する

# バッテリー/“メモリースティック デュオ”(別売)を入れる

## 1 カバーを開ける。

## 2 “メモリースティック デュオ”(別売)を入れる。

端子面をレンズ側に向けて、カチッというまで押し込む。

## 3 バッテリーを入れる。

バッテリーの向きを確認し、極性マークを液晶画面側に向けて、取りはずしつまみがロックするまで押し込む。

## 4 カバーを閉じる。

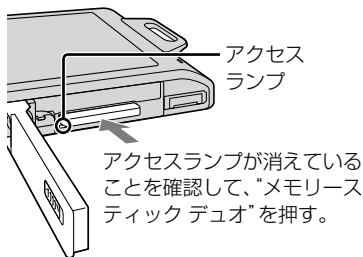
- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

## 使用できる記録メディア

### “メモリースティック デュオ”

“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG デュオ”も使えます。
記録できる枚数/時間については、21、27、32ページをご覧ください。その他の“メモリースティック”や、メモリーカードは使えません。

### “メモリースティック”

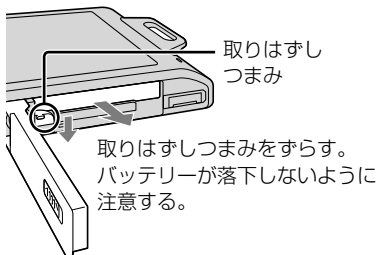
本機では使用できません。

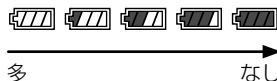
## “メモリースティック デュオ”を取り出す

**ご注意**

- アクセスランプ点灯中は、“メモリースティック デュオ” /バッテリーを取り出さないでください。データが壊れることがあります。

## “メモリースティック デュオ”を入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約11MB）に画像が記録されます。
“メモリースティック デュオ”にコピーする場合は、本機に“メモリースティック デュオ”を入れ、MENUをタッチして、(設定) → (“メモリースティック”ツール) → ［コピー］を選びます。

## バッテリーを取り出す

## バッテリーの残量を確認する

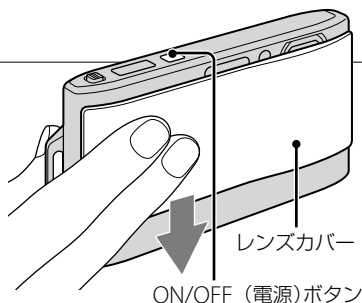
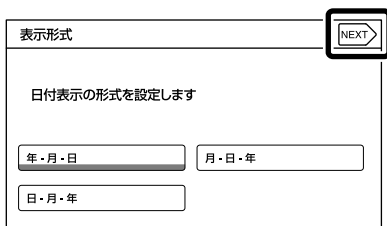
液晶画面に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

**ご注意**

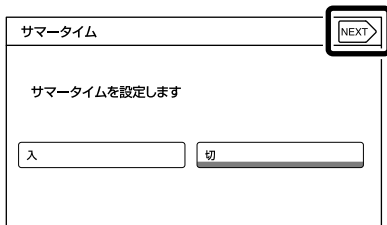
- 正しい残量を表示するのに約1分かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- NP-FD1バッテリー（別売）をお使いになると、残量表示の後に分表示も出ます。
- 電源を入れたまま約1分間操作しないと、液晶画面が暗くなります。
- 電源を入れたまま約2分間操作しないと、自動で電源が切れます（オートパワーオフ機能）。

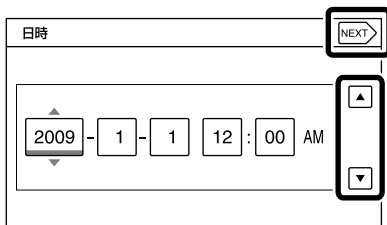
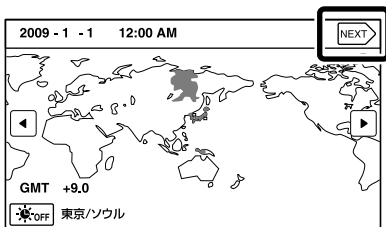
# 時計を合わせる

## 1 レンズカバーを下げる。

電源が入る。

- ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源が入る。
- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがある。

## 2 希望の日付表示形式を選び、NEXTをタッチする。

## 3 サマータイムの[入]、[切]を選び、NEXTをタッチする。

- 日本では、サマータイムは[切]にする。

## 4 設定する項目を選び、▲/▼で数値を設定し、NEXTをタッチする。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなる。

# 5 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、NEXTをタッチする。

# 6 [OK]をタッチする。

**ご注意**

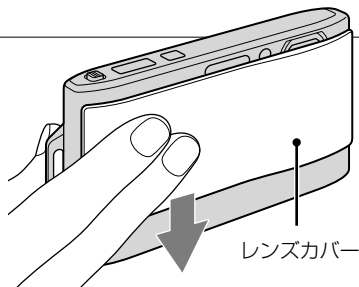
- 本機には画像に日付を挿入する機能はありません。CD-ROM（付属）に収録されている「PMB」を使用すると、日付を入れて保存/印刷できます。

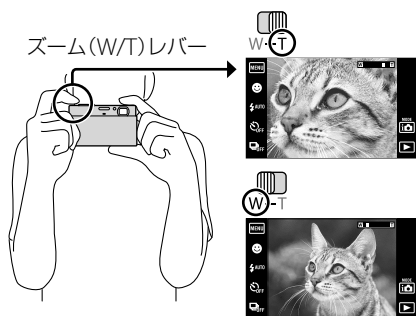
## 時計合わせをやり直す

MENU をタッチして、（設定）から（時計設定）を選びます（47ページ）。

# 撮る

## 1 レンズカバーを下げる。

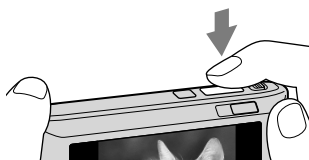
- 動画を撮影する場合は、i📷(撮影モード)を🎞(動画撮影)にする(31ページ)。

## 2 脇を締めて構え、構図を決める。

- ズーム(W/T)レバーをT側に動かすとズームする。W側に動かすと戻る。

## 3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

半押しすると手ブレ補正が効いて画面に(手ブレ補正マーク)が表示される。
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

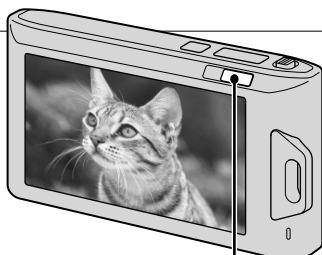
- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約1cm、T側約50cm。

## 4 シャッターボタンを深く押し込む。

画像が撮影される。

# 見る



## 1 ▶(再生)ボタンを押す。

- 他機で撮影した"メモリースティック デュオ"の画像を再生できない場合は、MENU → (ビューモード) → [フォルダビュー]で再生する。

### 次の画像/前の画像を選ぶ

画面の▶I(次)/I◀(前)をタッチする。

### 削除する

(削除) → [この画像]の順にタッチする。

### 撮影に戻る

をタッチする。

- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻る。

### 電源を切る

レンズカバーを閉じる。

- ON/OFF(電源)ボタンを押しても電源が切れる。

# 見やすい表示で撮る(かんたんモード)

撮影に必要最低限な機能だけを設定でき、文字が大きくなり、見やすい表示で撮影します。

**1** **MENU → EASY(かんたんモード) → [OK]をタッチする。**

| できること | 操作方法 |
|---|---|
| スマイルシャッター | ☻(スマイル)をタッチする |
| 画像サイズ | MENU → [画像サイズ] → [大]または[小]を選ぶ |
| フラッシュ | MENU → [フラッシュ] → [オート]または[切]を選ぶ |
| セルフタイマー | MENU → [セルフタイマー] → [入]または[切]を選ぶ |
| かんたんモード終了 | MENU → [かんたんモード終了] → [OK]をタッチする |

## かんたんモードで再生する

かんたんモード中に ▶(再生)ボタンを押すと、再生画面の文字も大きくなり、見やすくなります。また、使える機能が制限されます。

**(削除)** ：見ている画像を削除する
**(ズーム)** ：再生した画像を拡大する
**MENU** ：[1枚削除]で、見ている画像を削除する
：[全て削除]で、フォルダ内すべての画像を削除する
：[かんたんモード終了]で、かんたんモードを終了する

# 状況を自動判別して撮る（おまかせシーン認識）

## 1 i（撮影モード）→ i（おまかせオート撮影）をタッチする。

## 2 被写体にカメラを向ける。

カメラがシーンを認識すると、（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）、（風景）、（マクロ）、（拡大鏡）、（人物）の各マークとガイドが画面に出る。

シーン認識マーク（ガイド）

## 3 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、撮影する。

### 設定を変えた画像を2枚撮影し、好みの画像を選ぶ

MENU → iSCN（おまかせシーン認識）→ ［アドバンス］をタッチします。
失敗しがちな（夜景）、（夜景＆人物）、（三脚夜景）、（逆光）、（逆光&人物）を認識すると、下記のように設定を変えて、効果の異なる2枚の画像を撮影します。

| | 1枚目 | 2枚目 |
|---|---|---|
| 夜景 | スローシンクロで撮影 | 感度を上げて、ブレを軽減して撮影 |
| 夜景＆人物 | フラッシュがあたっている顔を基準にスローシンクロで撮影 | 顔を基準に感度を上げて、ブレを軽減して撮影 |
| 三脚夜景 | スローシンクロで撮影 | よりスローシャッターにし、感度は上げずに撮影 |
| 逆光 | フラッシュを使って撮影 | 背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROplus） |
| 逆光&人物 | フラッシュがあたっている顔を基準に撮影 | 顔と背景の明るさ、コントラストを調整して撮影（DROplus） |

［アドバンス］に設定して撮影したとき、撮影前に「目つぶり軽減」と表示されると、カメラは自動的に2枚撮影し、目つぶりしていない画像を自動的に選択して記録します。

# パノラマ画像を撮る(スイングパノラマ)

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。
パノラマ画像は付属の「PMB」でも再生できます。

**1** **i📷(撮影モード) → ▭(スイングパノラマ)をタッチする。**

**2** **液晶画面がよく見える位置にカメラを構え、シャッターボタンを深押しする。**

- ➡をタッチすると、撮影する方向を変更できます。

**3** **液晶画面上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。**

**ご注意**

- 動いている被写体はスイングパノラマに適していません。
- 場合によって、撮影が中断されたり、うまく画像が記録できない場合があります。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。

## 画像サイズ

画像サイズは写真を記録するときの大きさのことです。

| | |
|---|---|
| STD 標準<br>（上下方向：3424 × 1920）<br>（左右方向：4912 × 1080） | 標準サイズで撮影する。 |
| WIDE ワイド<br>（上下方向：4912 × 1920）<br>（左右方向：7152 × 1080） | 長いサイズで撮影する。 |

## 記録可能枚数

（単位：枚）

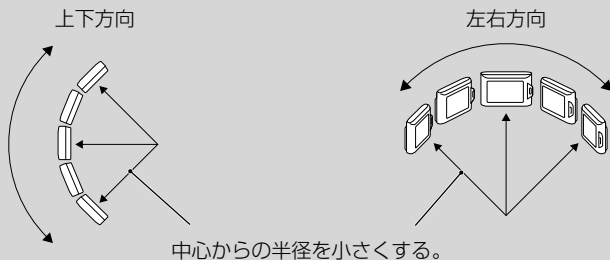
| 容量／サイズ | 内蔵メモリー | 本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ” | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 約11MB | 1GB | 2GB | 4GB | 8GB | 16GB |
| 標準（横） | 3 | 315 | 640 | 1262 | 2548 | 5180 |
| ワイド（横） | 3 | 259 | 527 | 1040 | 2101 | 4271 |
| 標準（縦） | 2 | 222 | 452 | 892 | 1801 | 3661 |
| ワイド（縦） | 2 | 213 | 432 | 853 | 1723 | 3503 |

**ご注意**

- 記録枚数は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

### スイングパノラマ撮影のポイント

一定の速度で小さな円を描くように動かし、液晶画面の矢印方向と平行に動かしてください。

撮影に便利な機能を使う

# ブレを抑えて撮る(人物ブレ軽減)(手持ち夜景)

高速連写を行い、画像を合成し手ブレまたは被写体ブレ、ノイズを軽減して記録します。

**1** **i📷(撮影モード) → ((👤))(人物ブレ軽減)または、☽✋(手持ち夜景)をタッチする。**

- 室内での人物撮影は((👤))(人物ブレ軽減)を選ぶ。三脚なしでの夜景撮影は☽✋(手持ち夜景)を選ぶ。

**2** **シャッターボタンを深押しする。**

# 連続して撮る(連写)

**1** **OFF(連写) → 好みのモードをタッチする。**

OFF(切):1枚撮影する。

Hi(高):最高約10コマ/秒の速さで連写する。

Mid(中):最高約5コマ/秒の速さで連写する。

Lo(低):最高約2コマ/秒の速さで連写する。

# 顔にピントを合わせて撮る（顔検出）

カメラが人物の顔を判別して、顔にピントを合わせます。

**1** **MENU → (顔検出) → 好みのモードをタッチする。**

**(タッチ時)**：画面の顔部分にタッチしたとき顔検出をする。

**(オート)**：カメラまかせでピント合わせする顔を選ぶ。

**(こども優先)**：子どもの顔を優先してピント合わせする。

**(おとな優先)**：大人の顔を優先してピント合わせする。

## 優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

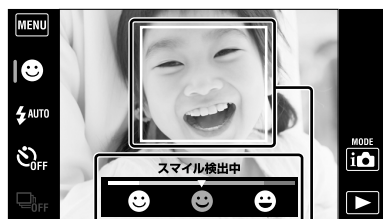
① 顔検出中に、登録したい顔をタッチする。
タッチした顔が優先顔として登録され、枠がオレンジ色の[ ]に変わる。
② 顔をタッチするたびに、登録が更新される。
③ 登録を解除したい場合は をタッチする。

# 笑顔を逃がさず撮る（スマイルシャッター）

1 ☻（スマイル）をタッチする。

2 笑顔を待つ。

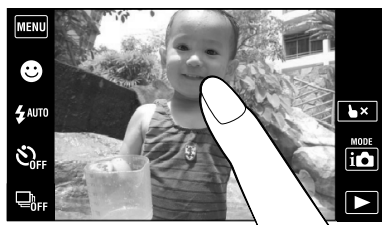
スマイルレベルがインジケーターの▼を超えると、自動で撮影される。終了するには、もう一度☻（スマイル）をタッチする。

- スマイルシャッター中に、シャッターボタンを押しても撮影できる。撮影後はスマイルシャッターに戻る。
- ☻（大笑い）、☻（普通の笑顔）、☻（ほほ笑み）をタッチすると、笑顔を検出する感度を設定できる。

スマイル検出感度インジケーター　顔検出枠

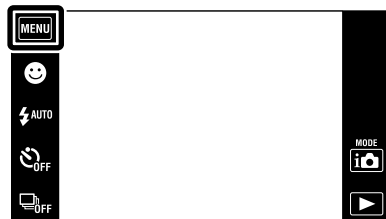
# 好きなところにピントを合わせる

ピントを合わせたいところをタッチするだけで、ピント位置を変更できます。

## 1 被写体に本機を向け、ピントを合わせたいところをタッチする。

- 半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできる。
- カメラまかせのピント合わせにしたいときは、[タッチ解除アイコン]×をタッチする。

# 用途に合わせて画像のサイズを選ぶ

画像サイズは写真を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。小さくすると、たくさん撮影できます。

**1　MENU → 4:3 10M（画像サイズ）→ 好みのサイズをタッチする。**

| 静止画画像サイズ | 用途例 | 本機の液晶表示 |
|---|---|---|
| 4:3 10M（3648 × 2736） | A3ノビサイズまでの印刷 | 縦横比4:3または3:2で表示。 |
| 4:3 5M（2592 × 1944） | A4サイズまでの印刷 | |
| 4:3 3M（2048 × 1536） | L/2L判までの印刷 | |
| 4:3 VGA（640 × 480） | Eメールに添付 | |
| 3:2 8M（3648 × 2432） | 写真の印画紙、ポストカード同様に3:2の縦横比で撮影 | |
| 16:9 7M（3648 × 2056） | ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA4サイズまでの印刷 | 画面いっぱいに表示。 |
| 16:9 2M（1920 × 1080） | ハイビジョン対応テレビでの鑑賞 | |

**ご注意**

- 16:9で撮影した画像は、プリント時に両端が切れることがあります。

## 記録可能枚数

（単位：枚）

| 容量 / サイズ | 内蔵メモリー | 本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ” | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 約11MB | 1GB | 2GB | 4GB | 8GB | 16GB |
| 10M | 2 | 202 | 412 | 812 | 1640 | 3335 |
| 5M | 3 | 293 | 595 | 1174 | 2372 | 4821 |
| 3M | 7 | 617 | 1253 | 2472 | 4991 | 10140 |
| VGA | 70 | 5924 | 12030 | 23730 | 47910 | 97390 |
| 3:2（8M） | 2 | 200 | 406 | 801 | 1618 | 3290 |
| 16:9（7M） | 2 | 201 | 409 | 807 | 1629 | 3312 |
| 16:9（2M） | 11 | 987 | 2005 | 3955 | 7986 | 16230 |

**ご注意**

- 記録枚数は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合があります。
- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

# フラッシュモードを選ぶ

## 1 AUTO（フラッシュ）→ 好みのモードをタッチする。

**AUTO（オート）**：暗い場所または逆光のとき、自動で発光する。

**（強制発光）**：必ず発光する。

**SL（スローシンクロ）**：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

**（発光禁止）**：発光しない。

**ご注意**

- おまかせオート撮影のとき、[強制発光]、[スローシンクロ]は使えません。
- 連写時はフラッシュ撮影できません。

# セルフタイマーを使う

## 1 OFF（セルフタイマー）→ 好みのモードをタッチする。

**OFF（切）**：セルフタイマーを使わない。

**10（10秒）**：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。解除するには×をタッチする。

**2（2秒）**：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

## 2 シャッターボタンを押す。

セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。

# 近くのものをきれいに撮る（マクロ）

虫や花など、小さいものを近くできれいに撮影したいときに使います。

**1** **MENU → (マクロ) → 好みのモードをタッチする。**

(オート)：遠景から近接まで自動でピントを合わせる。

(拡大鏡入)：近距離で撮影したい場合に使用する。W側固定で約1 ～ 20 cmの間でピントを合わせる。

**ご注意**

- スイングパノラマ、動画、人物ブレ軽減、手持ち夜景撮影時、スマイルシャッター、かんたんモード中は、マクロは[オート]に固定されます。

撮影に便利な機能を使う

# 場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

**1** **iO（撮影モード）→ SCN（シーンセレクション）→ 好みのモードをタッチする。**

**ISO（高感度）**：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減しながら撮影する。

**（ソフトスナップ）**：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

**（風景）**：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

**（夜景＆人物）**：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影する。

**（夜景）**：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

**（料理）**：マクロモードになり、料理を明るく美味しそうに撮影する。

**（ペット）**：ペットを最適な設定で撮影する。

**（ビーチ）**：海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに撮影する。

**（スノー）**：雪景色などの画面全体が白くなるようなシーンで雰囲気を損なわずに撮影する。

**（打ち上げ花火）**：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

**（水中）**：ハウシング（マリンパックなど）を装着したとき、水中をきれいに撮影する。

**（高速シャッター）**：屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影する。

• モードによっては、フラッシュ発光できなくなります。

# 動画を撮る

## 1 i📷(撮影モード) → 動画(動画撮影)をタッチする。

## 2 シャッターボタンを深押しして撮影を開始する。

## 3 もう一度シャッターボタンを深押しして終了する。

**ご注意**

- 周囲温度によっては動画記録中に、画面の明るさが暗くなることがあります。

### 動画を見る

▶(再生)ボタンを押して、▶❙(次)/❙◀(前)で見たい動画を選び、液晶画面の▶をタッチする。再生中、画面をタッチすると、操作ボタンが表示される。

| ボタン/操作方法 | できること |
| --- | --- |
| ❙◀◀ | 頭出し |
| ◀◀ | 早戻し |
| ▶❙❙もしくは画面をタッチ | 再生/一時停止 |
| ▶▶ | 早送り |
| 🔈 | 音量調節<br>🔈+/🔈-で調整する。 |

撮影に便利な機能を使う

## 画像サイズ

画像サイズが大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、多いほどなめらかな動きになります。

| 動画画像サイズ | 平均ビットレート | 用途例 |
|---|---|---|
| 720 FINE 1280 × 720（ファイン） | 9 Mbps | ハイビジョンテレビ用に高画質で撮影 |
| 720 STD 1280 × 720（スタンダード） | 6 Mbps | ハイビジョンテレビ用に標準画質で撮影 |
| VGA VGA | 3 Mbps | WEBアップロードに適したサイズで撮影 |

## 記録可能時間

以下の表は、動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。連続撮影可能時間は約29分です。

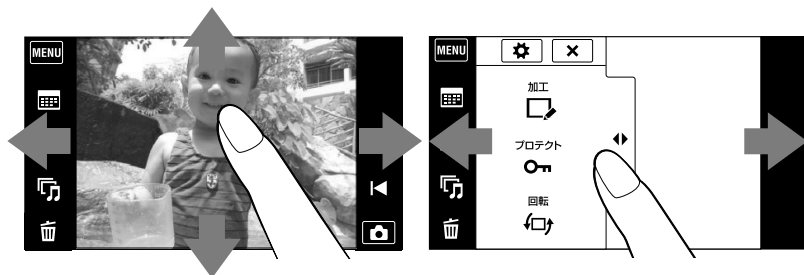
（単位：時：分：秒）

| 容量 / サイズ | 内蔵メモリー | 本機でフォーマットした"メモリースティック デュオ" | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 約11MB | 1GB | 2GB | 4GB | 8GB | 16GB |
| 1280×720（ファイン） | – | 0:13:50 | 0:28:30 | 0:56:20 | 1:53:50 | 3:51:40 |
| 1280×720（スタンダード） | – | 0:20:20 | 0:41:30 | 1:22:10 | 2:46:10 | 5:38:00 |
| VGA | 0:00:10 | 0:40:50 | 1:23:20 | 2:44:30 | 5:32:30 | 11:16:10 |

**ご注意**

- 記録時間は撮影状況および使用する記録メディアによって異なる場合があります。
- 連続撮影可能時間は、撮影環境によって異なる場合があります。液晶画面の明るさは[標準]の場合です。
- 画像サイズが[1280×720]の動画は"メモリースティック PRO デュオ"のみに記録できます。

# タッチパネルを使いこなす

本機は液晶画面をなぞることにより、さまざまな操作ができます。

メニュー画面の表示/非表示

| できること | 操作方法 |
|---|---|
| メニュー画面を表示 | 左側から右になぞる |
| メニュー画面を非表示 | 右側から左になぞる |
| 操作ボタンを非表示 | 左側から左になぞる |
| 操作ボタンを表示 | 左側から右になぞる |
| 画像を送る/戻す | 右/左になぞる |
| 画像を連続で送る/戻す | 右/左になぞり、画面をタッチし続ける |
| 一覧表示画面を表示 | 上になぞる |
| 一覧表示時、ページを送る/戻す | 下/上になぞる |
| 日付ビューで再生しているとき、カレンダー画面を表示 | 下になぞる |

## 操作ボタンの表示を設定する

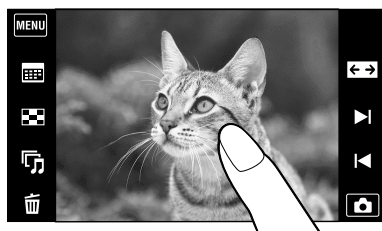
画面に操作ボタンを表示するかどうか設定できます。

**撮影時：** MENU → [撮影表示設定] → [入]または[切]
**再生時：** MENU → [再生表示設定] → [入]または[切]

再生に便利な機能を使う

# 拡大して見る(再生ズーム)

## 1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、拡大したい部分をタッチする。

タッチした部分を中心に、2倍に拡大される。

## 2 倍率や拡大位置を調整する。

画像をタッチするたびに、さらに拡大表示される。

**上下左右になぞる**:ズーム位置変更

⊕⊖:倍率変更

✕:ズーム中止

全体の中で現在表示されている部分

# 画面いっぱいに画像を表示する(ワイドズーム)

## 1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、←→(ワイドズーム)をタッチする。

- 終了するには、再び←→をタッチする。

# 縦に表示された画像を一時的に横に回転する（一時回転表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して縦に表示された画像を再生し、（一時回転表示）をタッチする。

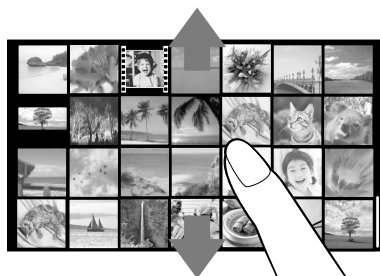
- 終了するには、再び をタッチする。

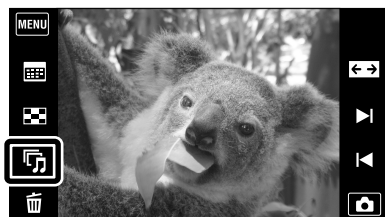
# 素早く探す（一覧表示）

1 （一覧表示）をタッチする。

- MENU → [一覧表示設定]で表示枚数を12枚か28枚に設定できる。

2 画面を上下になぞり、ページを送る。

- 一覧表示画面で画像をタッチすると、1枚再生に戻る。

# 音楽といっしょに再生する(スライドショー)

1 (スライドショー) → (音楽付スライドショー)をタッチする

2 希望の設定項目を選び[実行]をタッチする。

スライドショーが始まる。

• スライドショーを終了するには、画面をタッチして、[スライドショー終了]をタッチする。

## 好きな曲をBGMにする

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、付属のソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして(41ページ)、下記手順をおこないます。

① MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMダウンロード]をタッチする。
② 本機とパソコンをUSB接続する。
③ 「Music Transfer」を起動して操作する。

詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

# 削除する

1 (削除) → 好みのモードをタッチする。

(この画像)：見ている画像を削除する。

(画像選択)：画像を何枚か選んで削除する。削除したい画像をタッチして選び、[OK] → [OK]をタッチする。

(日付内全て)/(フォルダ内全て)：日付・フォルダ内すべての画像を削除する。

(グループ内全て)：連写グループ内すべての画像を削除する。

(この画像以外全て)：連写グループ表示時、選択している画像以外を削除する。

# すべての画像を削除する（フォーマット）

"メモリースティック デュオ"が本機に入っている場合は"メモリースティック デュオ"のデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。

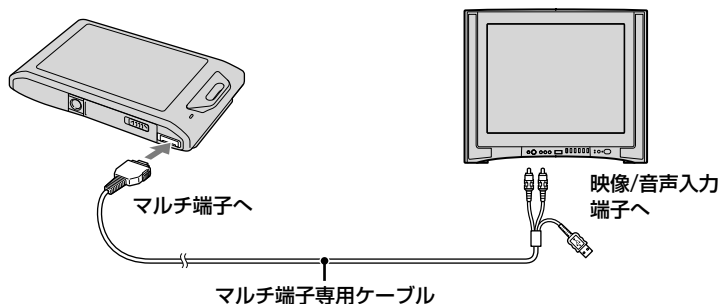
1 MENU → (設定) → ("メモリースティック" ツール) または (内蔵メモリーツール) → [フォーマット]をタッチする。

2 [OK]をタッチする。

**ご注意**

- フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

# テレビで見る

## 1 本機とテレビをマルチ端子専用ケーブル(付属)でつなぐ。

### ハイビジョンテレビに接続して画像を楽しむときは

- HD出力アダプターケーブル(別売)で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。「Type1a」対応のHD出力アダプターケーブルをお使いください。
- あらかじめ、メニュー画面から (設定)を選び、 (本体設定)の[コンポーネント出力]を[HD(D3)]に設定してください。

# プリントする

PictBridge対応プリンターをお持ちの場合は、以下の手順でプリントできます。

## 1 マルチ端子専用ケーブル(付属)を使って、本機とプリンターを接続する。

## 2 プリンターの電源を入れ、本機の▶(再生)ボタンを押す。

接続が完了すると、画面に マークが表示される。

## 3 MENU → (印刷) →好みのモードをタッチする。

**(この画像)**：見ている画像を印刷する。

**(画像選択)**：▲/▼で画像を選び、印刷したい画像をタッチする。

**(日付内全て）/(フォルダ内全て)**：日付・フォルダ内すべての画像を印刷する。

## 4 希望の設定項目を選び、[実行]をタッチする。

画像がプリントされる。

**ご注意**

- プリンターに接続できなかった場合、一度マルチ端子専用ケーブルをはずし、MENU → (設定) → (本体設定) → [USB接続] → [PictBridge]をタッチして、手順1から操作し直してください。
- プリンターによっては、パノラマ画像を印刷できない場合があります。

### お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。
“メモリースティック デュオ”にコピーしてプリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENU → (設定) → (“メモリースティック”ツール) → [コピー] → [OK]をタッチする。その他詳しくはプリントサービス店にご相談ください。

### 画像に日付を入れるには

本機には画像に日付を挿入する機能はありません。プリント時に日付が重なってしまうことを防ぐためです。

**お店でプリントする：**

日付を挿入してプリントするよう依頼できます。詳しくはプリントサービス店にお問い合わせください。

**自宅でプリントする：**

PictBridge対応プリンターに接続し、▶(再生)ボタン → MENU → [印刷] → [日付]を[年月日]または[日時分]にします。

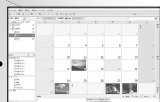
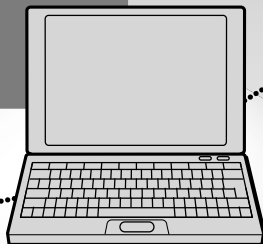
**PMBで画像に日付を挿入する：**

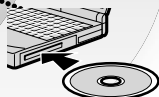
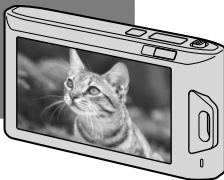
付属のソフトウェア「PMB」をパソコンにインストールして(41ページ)、画像に直接日付を挿入できます。日付挿入した画像をプリントすると、プリント設定によっては日付が重なってしまう場合があります。ご注意ください。詳しくは、「PMBガイド」(42ページ)をご覧ください。

# パソコンで使う

## 「PMB (Picture Motion Browser)」で楽しむ

サイバーショットで撮影した画像をよりいっそうご活用いただくために、CD-ROM（付属）には「PMB」が収録されています。

下記の他にも、撮影した画像を楽しむ機能があります。詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください（42ページ）。

**ご注意**

- 「PMB」は、Macintoshには対応していません。

## 操作1：「PMB」（付属）をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア（付属）をインストールします。「PMB」と同時に「Music Transfer」もインストールされます。

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

### 1 パソコンの環境を確認する。

**「PMB」、「Music Transfer」使用時、画像を取り込むときの推奨環境**

**OS（工場出荷時にインストールされていること）**：Microsoft Windows XP* SP3/ Windows Vista SP2

**CPU**：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上（HD動画再生・編集時は、Intel Pentium 4 2.8 GHz以上/Intel Pentium D 2.8 GHz以上/Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.20 GHz以上）

**メモリ**：512 MB以上（HD動画再生・編集時は1 GB以上）

**ハードディスク（インストール時に必要な容量）**：約500 MB

**ディスプレイ**：1024×768ドット以上

* 64bit版は除きます。

ディスク作成機能のご使用には、Windows Image Mastering API（IMAPI) Ver2.0以上が必要です。

### 2 パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。

### 3 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

### 4 画面の指示に従ってインストールを進める。

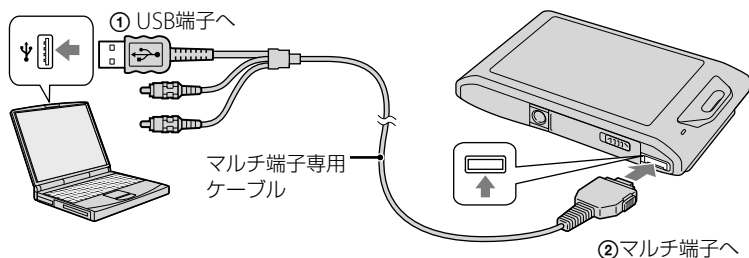
### 5 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。

つないで楽しむ

## 操作2：「PMB」で画像をパソコンに取り込む

### 1 充分に充電したバッテリーを本機に入れ、▶(再生)ボタンを押す。

### 2 本機とパソコンを接続する。

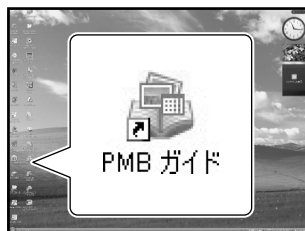
本機の画面に「接続中」と表示される。

- 通信中は本機の画面に USB が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。

### 3 [取り込み開始]をクリックする。

その他詳しくは、「PMBガイド」をご覧ください。

## 操作3：「PMBガイド」を見る

### 1 デスクトップ上の (PMBガイド)をダブルクリックする。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [Sony Picture Utility] → [ヘルプ] → [PMBガイド]の順にクリックする。

**ご注意**

- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマルチ端子専用ケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れることがあります。ACアダプター AC-LS5K/AC-LS5A（別売）とマルチ端子専用USB・AV・DC INケーブル（別売）のご使用をおすすめします。

## 「Macintosh」で使う

Macintoshに画像を取り込むことができます。ただし、「PMB」は対応していません。画像を"メモリースティック デュオ"に書き出した場合は、フォルダビューでご覧下さい。
「Music Transfer」はインストールできます。

**パソコンの推奨環境**

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

**「Music Transfer」使用時、画像を取り込むときの推奨環境**

**OS（工場出荷時にインストールされていること）**：Mac OS X（v10.3 ～ v10.5）
**メモリ**：64 MB以上（128 MB以上を推奨）
**ハードディスク（インストール時に必要な容量）**：約50 MB

# 操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

**1 MENU → (設定) → (本体設定) → ［操作音］ → 好みのモードをタッチする。**

**シャッター：**シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

**大、小：**タッチパネルを操作したときや、シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。音を小さくしたいときは[小]にする。

**切：**音は鳴らない。

# MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。本機の画面には、設定できる項目のみが表示されます。MENUの下に表示されている4つのメニュー項目は、メニュー画面内には表示されません。
お買い上げ時の状態に戻すには、MENUをタッチして、(設定) → (本体設定) → [設定リセット]で戻せます。

## 撮影時のMENU

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| かんたんモード | 必要最低限の機能を使って撮影する。 |
| 動画撮影モード | 動画撮影時、シーンに合わせて設定を変更する。<br>(AUTOオート/水中) |
| スマイルシャッター | 笑顔を逃がさず撮る。 |
| フラッシュ | フラッシュを設定する。<br>(AUTOオート/強制発光/SLスローシンクロ/発光禁止) |
| セルフタイマー | セルフタイマーを設定する。<br>(OFF切/10 10秒/2 2秒) |
| 連写 | 連写を設定する。<br>(OFF切/Hi高/Mid中/Lo低) |
| 撮影方向 | スイングパノラマ撮影のとき、カメラを動かす方向を設定する。<br>(右/左/上/下) |
| 画像サイズ | 画像サイズを設定する。<br>(4:3 10M/4:3 5M/4:3 3M/4:3 VGA/3:2 8M/16:9 7M/16:9 2M)<br>(STD標準/WIDEワイド)<br>(720 FINE 1280 × 720(ファイン)/720 STD 1280 × 720(スタンダード)/VGA VGA) |
| マクロ | 小さいものを近くできれいに撮影する。<br>(AUTOオート/拡大鏡入) |
| 明るさ(EV補正) | 露出を手動調整する。<br>(−2.0EV ~ +2.0EV) |

カメラの設定を変える

| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| ISO | ISO感度を設定する。<br>(ISO AUTO/ISO125 ~ ISO3200) |
| 色合い<br>(ホワイトバランス) | 撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。<br>(オート/太陽光/曇天/蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3/電球/フラッシュ /ワンプッシュ /ワンプッシュ取込) |
| 水中ホワイトバランス | 水中での色合いを調整する。<br>(オート/水中1、水中2/ワンプッシュ /ワンプッシュ取込) |
| フォーカス | ピント合わせの方法を変更する。<br>(マルチAF/中央重点AF/スポットAF) |
| 測光モード | 画面のどの部分で光を測るか(測光)を設定する。<br>(マルチ/中央重点/スポット) |
| おまかせシーン認識 | カメラがシーンを判断して撮影する。<br>(オート/アドバンス) |
| 顔検出 | 人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。<br>(タッチ時/オート/こども優先/おとな優先) |
| DRO | 明るさとコントラストを最適化する。<br>(切/スタンダード/プラス) |
| 目つぶり軽減 | 目つぶり軽減機能を設定する。<br>(オート/切) |
| 赤目軽減 | 赤目軽減機能を設定する。<br>(オート/入/切) |
| 手ブレ補正 | 手ブレ補正の種類を設定する。<br>(撮影時/常時/切) |
| 撮影表示設定 | 撮影時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定する。<br>(入/切) |

## 再生時のMENU

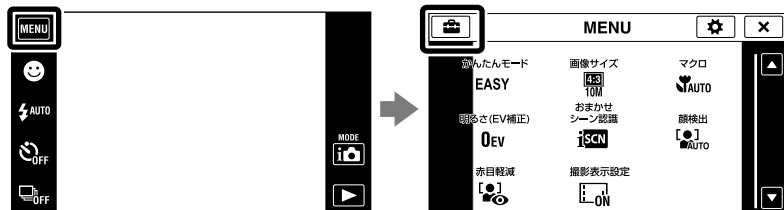
| 項目 | 説明 |
| --- | --- |
| EASY(かんたんモード) | 撮影した画像を、かんたんに表示する。 |
| (カレンダー表示) | カレンダー画面から再生する日付を選ぶ。 |
| (一覧表示) | 同時に複数の画像を表示させる。 |
| (スライドショー) | 画像を連続再生する。<br>(連続再生/音楽付スライドショー) |
| (削除) | 画像を削除する。<br>(この画像/画像選択/日付内全て*/グループ内全て/この画像以外全て) |
| (ペイント) | 静止画へ描き込みをして別ファイルとして保存する。 |

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| (加工) | 画像に特殊な加工をする。<br>(トリミング/赤目補正/ピントくっきり補正) |
| (連写グループ表示) | 連写画像の表示のしかたを選択する。<br>(グループ代表画像のみ表示/全て表示) |
| (ビューモード) | ビューモードの切り換えを行う。<br>(日付ビュー /フォルダビュー) |
| (プロテクト) | 画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。<br>(この画像/画像選択/日付内全て設定*/日付内全て解除*) |
| DPOF | "メモリースティック デュオ"の画像にプリント予約マークを付ける。<br>(この画像/画像選択/日付内全て設定*/日付内全て解除*) |
| (印刷) | PictBridge対応プリンターを接続して印刷する。<br>( この画像/ 画像選択/日付内全て*) |
| (回転) | 静止画を左右に回転する。 |
| (音量設定) | 音量を調節する。 |
| (再生表示設定) | 再生時、画面に操作ボタンを表示するかどうか設定します。<br>(入/切) |
| (撮影情報表示) | 液晶画面に表示している画像ファイルの撮影情報(Exif情報)を表示するかどうか設定する。<br>(入/切) |
| (一覧表示設定) | 一覧表示時、画像を表示する枚数を設定する。<br>(12枚/28枚) |
| (再生フォルダ選択) | 再生したい画像の入っているフォルダを選択する。 |

* 各ビューモードによって、表示される項目が異なります。

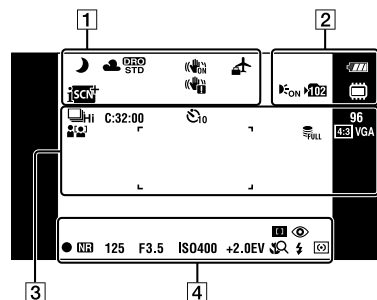
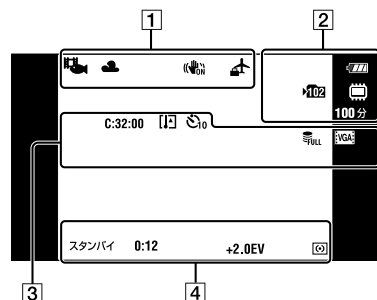
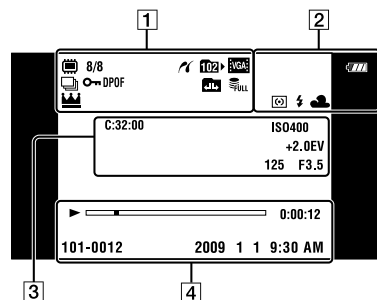
## (設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

| カテゴリー | 項目 | 説明 |
|---|---|---|
| 撮影設定 | AFイルミネーター | 暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。 |
| | グリッドライン | 構図を合わせるための線を表示する。 |
| | デジタルズーム | 光学ズーム以上のズームの方法を設定する。 |
| | 縦横判別 | 画像の縦横を判別して記録する。 |
| | シーン認識ガイド | シーン認識マークの横に表示されるガイドを表示する。 |
| | 目つぶり通知 | 目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。 |
| 本体設定 | 操作音 | 本機の操作時に鳴る音を設定する。 |
| | 画面の明るさ | 液晶画面の明るさを設定する。 |
| | 表示言語 | 本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。 |
| | デモモード | スマイルシャッターやおまかせシーン認識のデモンストレーションをする。 |
| | 設定リセット | お買い上げ時の設定に戻す。 |
| | コンポーネント出力 | 接続するテレビ端子に合わせて設定する。 |
| | ビデオ信号出力 | 接続するビデオ出力方式に合わせて設定する。 |
| | ハウジング | ハウジング（マリンパック）を装着したとき、ボタンの働きを変更する。 |
| | USB接続 | 接続するパソコンやプリンターに合わせて設定する。 |
| | BGMダウンロード | スライドショー用の音楽を変更する。 |
| | BGMフォーマット | スライドショー用の音楽をすべて消去する。 |
| | キャリブレーション | ボタンの反応位置のずれを調整する。 |
| "メモリースティック"ツール | フォーマット | "メモリースティック デュオ"をフォーマット（初期化）する。 |
| | 記録フォルダ作成 | "メモリースティックデュオ"の中に新しいフォルダを作成する。 |
| | 記録フォルダ変更 | 画像を記録するフォルダを変更する。 |
| | 記録フォルダ削除 | "メモリースティックデュオ"の中のフォルダを削除する。 |
| | コピー | 内蔵メモリーに記録した画像を、"メモリースティックデュオ"に一括コピーする。 |
| | ファイル番号 | ファイル番号の付けかたを設定する。 |
| 内蔵メモリーツール | フォーマット | 内蔵メモリーをフォーマット（初期化）する。 |
| | ファイル番号 | ファイル番号の付けかたを設定する。 |
| 時計設定 | エリア設定 | 本機を使用する場所に適した時刻に設定する。 |
| | 日時設定 | 時計、日付の設定をする。 |

# 画面に表示されるアイコン一覧

画面には、カメラの状態を表すアイコンが出ます。
撮影したモードによって、表示されるアイコンの位置が異なる場合があります。

**静止画撮影時**

**動画撮影時**

**再生時**

1

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| | シーン認識マーク |
| | 色合い(ホワイトバランス) |
| DRO STD DRO Plus | DRO |
| | 手ブレ補正 |
| | 訪問先 |
| iSCN | おまかせシーン認識 |
| | 手ブレ警告 |
| | 動画撮影モード |
| ×2.0 | 再生ズーム |
| | 記録/再生メディア(“メモリースティック デュオ”、内蔵メモリー) |
| 8/8 | 画像番号/再生フォルダ内画像枚数 |
| | PictBridge接続 |
| 102 | 再生フォルダ |
| | 連写画像 |
| | プロテクト |
| DPOF | プリント予約マーク |
| | フォルダ移動 |
| FULL | 管理ファイルフル |
| | 連写代表画像 |

2

| 表示 | 意味 |
|---|---|
|  | バッテリー残量 |
|  | バッテリープリエンド |
| ON | AFイルミネーター |
| 102 | 記録フォルダ |
|  | 記録/再生メディア（“メモリースティック デュオ”、内蔵メモリー） |
| 100分 | 記録可能時間 |
| W T ×1.3 S P | ズーム |
|  | 測光モード |
|  | フラッシュ |
| AWB WB 1 2 3 WB 1 WB 2 | 色合い（ホワイトバランス） |

3

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| Hi Mid Lo | 連写 |
| C:32:00 | 自己診断表示 |
|  | 温度上昇警告 |
| 10 2 | セルフタイマー |
| FULL | 管理ファイルフル |
| 96 | 記録可能枚数 |
|  | 顔検出 |
|  | AF測距枠 |
| + | スポット測光照準 |

| 表示 | 意味 |
|---|---|
| 4:3 10M 4:3 5M 4:3 3M 4:3 VGA 3:2 8M 16:9 7M 16:9 2M STD WIDE 720 FINE 720 STD VGA | 画像サイズ |
| ISO400 | ISO感度 |
| +2.0EV | 明るさ（EV補正） |
| 125 | シャッタースピード |
| F3.5 | 絞り値 |

4

| 表示 | 意味 |
|---|---|
|  | フォーカス |
|  | 赤目軽減 |
|  | 再生 |
|  | 再生バー |
| 35° 37' 32" N 139° 44' 31" E | 緯度・経度表示 |
| 0:00:12 | カウンター |
| ● | AE/AFロック |
| NR | NRスローシャッター |
| 125 | シャッタースピード |
| F3.5 | 絞り値 |
| ISO400 | ISO感度 |
| +2.0EV | 明るさ（露出補正） |
|  | 拡大鏡モード |
| SL | フラッシュモード |
|  | フラッシュ充電中 |
|  | 測光モード |
| 録画 スタンバイ | 動画撮影/スタンバイ |
| 0:12 | 記録時間（分：秒） |
| 101-0012 | フォルダ-ファイル番号 |
| 2009 1 1 9:30 AM | 画像の記録日時 |

# もっと詳しく知りたい(サイバーショットハンドブック)

「サイバーショットハンドブック」は、CD-ROM（付属）に収録されています。さらに詳しい説明を知りたいときに、ご覧ください。

- 「サイバーショットハンドブック」を見るには、Adobe Readerが必要です。インターネットから無償でダウンロードできます。
  http://www.adobe.co.jp

## Windowsをお使いの場合

**1** パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

**2** 「サイバーショットハンドブック」をクリックする。

本機をよりよく使うためにアクセサリーの紹介をしている「サイバーショットステップアップガイド」も同時にインストールされる。

**3** デスクトップ上のショートカットから起動する。

## Macintoshをお使いの場合

**1** パソコンの電源を入れ、CD-ROM（付属）をCD-ROMドライブに入れる。

**2** [Handbook] - [JP]の順に選び、[JP]フォルダ内の“Handbook.pdf”をパソコンにコピーする。

**3** コピーが完了したら、“Handbook.pdf”をダブルクリックする。

その他

# 故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

**❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットハンドブック（PDF）」も参照し、本機を点検する。**

画面に「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットハンドブック」をご覧ください。

**❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

**❸ 設定リセットをする（47ページ）。**

**❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

**❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種の修理において、不具合症状の発生/改善の確認のために必要最小限の範囲でデータを確認させていただく場合があります。ただし、それらのデータをソニー側で複製/保存することはありません。あらかじめご了承ください。**

## バッテリー・電源

### 本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください（12ページ）。

### 電源が入らない。

- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください（12ページ）。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付けてください（10ページ）。
- 推奨バッテリーをお使いください。

### 電源が切れる。

- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前に画面にメッセージが表示されます。
- 操作しない状態が2分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

### バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

### バッテリーを本体に入れた状態で充電できない。

- ACアダプター（別売）を使っての充電はできません。バッテリーチャージャー（付属）を使って充電してください。

### バッテリー充電中、CHARGEランプが点滅する。

- バッテリーを取りはずし、もう一度同じバッテリーを確実に取り付けてください。
- 充電に適した温度範囲（10 ℃～ 30 ℃）で充電してください。

## 撮影

### 撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の空き容量を確認してください（21、27、32ページ）。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください（37ページ）。
  – "メモリースティック デュオ"を交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 画像サイズが［1280 × 720］の動画は"メモリースティック PRO デュオ"のみに記録できます。"メモリースティック PRO デュオ"以外の記録メディアをお使いの場合は、動画の画像サイズを［VGA］に設定してください。
- デモモードを［切］にしてください。

## 再生

### 再生できない。

- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- 他機で撮影した"メモリースティック デュオ"では再生できない場合があります。フォルダビューで再生してください（47ページ）。
- パソコン内の画像を「PMB」を使わずに"メモリースティック デュオ"にコピーしたためです。フォルダビューで再生してください（47ページ）。

# 使用上のご注意

## 使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

## 持ち運びについて

ズボンやスカートの後ろポケットに本機を入れたまま、椅子などに座らないでください。故障や破損の原因になります。

## お手入れについて

### 液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミが付いて汚れたときは、液晶クリーニングキット(別売)を使ってきれいにすることをおすすめします。

### レンズをきれいにする

レンズに指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにすることをおすすめします。

### 表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

## 動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～ 40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

## 結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

### 結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

## 内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

### 内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

## “メモリースティック デュオ”を廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、“メモリースティック デュオ”内のデータは完全には消去されないことがあります。“メモリースティック デュオ”を譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、“メモリースティック デュオ”を廃棄するときは、“メモリースティック デュオ”本体を物理的に破壊することをおすすめします。

# 安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

### 分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

### 内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

禁止

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

### 運転中に使用しない

禁止

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、液晶画面を見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

### 撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

### 指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

### 機器本体や付属品、記録メディアは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や"メモリースティック"などを飲みこむおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲みこんだ場合は、直ちに医師に相談してください。

### 電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

### 電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

### 可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

### フラッシュ、AFイルミネーターなどの撮影補助光を至近距離で人に向けない

禁止

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。

- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

**水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない**

禁止

火災や感電の原因になることがあります。

**ぬれた手で使用しない**

ぬれ手禁止

感電の原因になることがあります。

**不安定な場所に置かない**

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**コード類は正しく配置する**

指示

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

**通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない**

禁止

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

**使用中は機器を布で覆ったりしない**

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

**長期間使用しないときは、電源をはずす**

プラグをコンセントから抜く

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

**フラッシュの発光部を手でさわらない**

禁止

フラッシュ発光部を手で覆ったまま発光しないでください。発光後も発光部に手を触れないでください。やけどの原因となります。

**レンズや液晶画面に衝撃を与えない**

禁止

レンズや液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

**電池や付属品、記録メディア、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる**

指示

電池や"メモリースティック"などが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

## ⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

**漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

### ⚠危険

禁止

- 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
- 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
- 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
- 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。

### ⚠警告

禁止

- 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
- バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
- アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。
- 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。

### ⚠注意

指示

- 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。

禁止

- 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。

### お願い

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。

リチウムイオン電池

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人 JBRC ホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html
を参照して下さい。

# 保証書とアフターサービス

## 記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラや"メモリースティック デュオ"などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

## 保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## 保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな？と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

### 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

### 部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

### 部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください（裏表紙）。

### 修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の保障についてはご容赦ください。

# 主な仕様

### 本体

#### [システム]

撮像素子：7.59 mm（1/2.4型）Exmor R CMOS センサー
総画素数：約1060万画素
カメラ有効画素数：約1020万画素
レンズ：カール ツァイス バリオ・テッサー 4倍ズームレンズf=6.18 ～ 24.7 mm（35 ～ 140 mm（35mm フィルム換算値））、F3.5（W）～ 4.6（T）
動画撮影時（16:9）：38 ～ 152 mm
動画撮影時（4:3）：46 ～ 184 mm
露出制御：自動、シーンセレクション（12モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1、2、3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ
水中ホワイトバランス：オート、水中1、2、ワンプッシュ
記録方式：
静止画：JPEG（DCF Ver. 2.0、Exif Ver. 2.21、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
動画：MPEG-4 Visual
記録メディア：内蔵メモリー 約11 MB、"メモリースティック デュオ"
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.08 ～ 3.0 m（W）/約0.5 ～ 2.4 m（T）

#### [入出力端子]

マルチ端子：Type1a（AV出力(SD/HDコンポーネント)/USB/DC-in）
映像出力
音声出力（モノラル）
USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0準拠）

#### [液晶画面]

液晶パネル：ワイド（16：9）、7.5 cm（3.0型）TFT駆動
総ドット数：230 400（960 × 240）ドット

#### [電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパック
NP-BD1、3.6 V
NP-FD1（別売）、3.6 V
消費電力（撮影時）：1.0 W
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－20 ～ +60 ℃
外形寸法：93.8 × 58.2 × 16.5 mm（幅 × 高さ × 奥行き、突起部を除く）
本体質量（バッテリー NP-BD1、"メモリースティック デュオ"を含む）：約142 g
マイクロホン：モノラル
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応
PictBridge：対応

### バッテリーチャージャー BC-CSD

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50/60 Hz、2.2 W
定格出力：DC 4.2 V、0.33 A
動作温度：0 ～ 40 ℃
保存温度：－20 ～＋60 ℃
外形寸法：約62 × 24 × 91 mm（幅×高さ × 奥行き）
本体質量：約75 g

### リチャージャブルバッテリーパック NP-BD1

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 4.2 V
公称電圧：DC 3.6 V
容量：2.4 Wh（680 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

## 商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。
Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティック PRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティック PRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"メモリースティック マイクロ"、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビア プレミアムフォト"、"InfoLITHIUM（インフォリチウム）"
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、MMX、PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

## ■困ったときは（サポートのご案内）

### ホームページで調べる

**サイバーショットの最新サポート情報**
**（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

**サイバーショットオフィシャルWEBサイト**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

**"メモリースティック"対応表**
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
また、その他の"メモリースティック"に関する情報も確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

**付属ソフトウェアのサポート情報**
http://www.sony.co.jp/support-disoft/

### 電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

**● 使い方相談窓口**
**フリーダイヤル**............ 0120-333-020
**携帯・PHS・一部のIP電話**............ 0466-31-2511
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

**● 修理相談窓口**
**フリーダイヤル**............ 0120-222-330
**携帯・PHS・一部のIP電話**............ 0466-31-2531
上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。
受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

**ホームページ**　http://www.sony.co.jp/di-repair/

FAX（共通）：0120-333-389

## ■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-usbregi/

カスタマー登録の特典については下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-tokuten/

**ソニー株式会社**　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan